# 令和７年度第２期環境基本計画に係る施策等の年次報告
# 施策進捗管理指標に基づく達成度評価

| | 年度 | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 目標１　豊かな自然を育むまち | R7 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 目標２　安心とやすらぎがあるまち | R7 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 目標３　資源が循環するまち | R7 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 目標４　地球環境にやさしいまち | R7 | 2 | 1 | 5 | 5 | 0 |
| 目標５　環境について考え行動するまち | R7 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| 合計 | R7 | 11 | 5 | 7 | 7 | 0 |

# 目標１　豊かな自然を育むまち

Ａ…１００％／Ｂ…７５％／Ｃ…５０％／Ｄ…２５％／Ｅ…０％（未着手）

| ① 御嵩町版レッドデータブックの調査、改訂 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 平成25年度改訂 | 調査、改訂 | － | － | D |

| | | |
|---|---|---|
| 【内容】 | 企環 | レッドデータブックの改訂に向け、庁内で検討を行う。 |
| 【実績】 | 企環 | 2/4に開催した生物環境アドバイザー会議において、今後のレッドデータの改訂方針について協議を行った。今後は、保全優先度の高い種を選定しつつ、庁内検討を進めていく。 |

| ② みたけの森などで自然観察会や生き物調査などの実施回数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 5 | 5 | 講座 | － | A |

| | | |
|---|---|---|
| 【内容】 | 企環 | 地域の自然への理解を深めるため、自然観察会やカワゲラウォッチング等を開催する。 |
| | 農林 | みたけの森の普及啓発を目的としたイベントを開催する。 |
| | 学教 | みたけの森等で環境学習を実施する。 |
| | 生学 | 成人講座でみたけの森の植物観察を実施する。 |
| 【実績】 | 企環 | 自然観察及び生物調査事業を計4回実施した。内訳は、みたけの森での植物観察会2回、野鳥観察会1回、可児川でのカワゲラウォッチング1回である。 |
| | 農林 | 5月にみたけの森まつりを開催し、スタンプラリー、丸太切り体験、ネイチャークラフトを実施した。 |
| | 学教 | 令和7年度中にみたけの森で森林環境学習を行った。<br>御嵩小学校(89名)　上之郷小学校(56名) |
| | 生学 | 成人講座として、10月にみたけの森植物観察会を開催した。湿地特有の樹木や植物の生態系について、現地での観察を通じて理解を深めた。 |

# 目標１　豊かな自然を育むまち

| ③ 希少野生生物などが生息する貴重な場の整備か所 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | か所 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 【内容】 | 企環 | みたけの森や前沢湿地などの保全を行う。 |
| | 農林 | みたけの森などの整備を行う。 |
| 【実績】 | 企環 | 前沢湿地について、7/27に学識者と生物環境アドバイザーで植生確認、12/1に保全作業を行った（11/9にも予定してたが雨天のため中止）。止水堰による滞水域の確保や、樹木・ツル類の伐採による光環境の改善など、状況に応じた保全作業を継続していく。<br>加えて、みたけの森の岩の沢湿原においては、湿地保全団体による「スタートアップ補助金」の活用を支援し、官民連携による環境整備を実施した。 |
| | 農林 | みたけの森管理人による除伐、枝払い等の適切な維持管理を実施（毎日） |

前年評価：－　本年評価：A

| ④ 森林経営信託方式による森林整備面積の増加 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 177.44 | 264.32 | ha | | |

| | | |
|---|---|---|
| 【内容】 | 農林 | 森林経営信託方式による森林整備を推進する。 |
| 【実績】 | 農林 | 森林経営信託方式による森林整備を北山地内で着実に実施<br>Ｒ7年度　12.56ha（合計190ha）<br>《参考》目標値264.32haについては現信託候補地面積<br>平成24年～令和3年(第1期):149.75ha<br>令和4年～令和13年(令和7年末見込)(第2期):40.25ha |

前年評価：－　本年評価：C

| ⑤ 環境教育施設拠点数（企業の森） | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 5 | 5 | か所 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 【内容】 | 農林 | 環境教育施設の拠点数を維持するとともに、その活動を支援する。 |
| 【実績】 | 農林 | 5/9(株)十六フィナンシャルグループ(160名)、10/25アサヒビール(株)(30名)、<br>11/15東邦ガス(株)(50名)、(株)岐阜造園(毎月第2､4土曜　5名/回)、6/16東海化成㈱(13名)の5企業と共に実施。<br>東邦ガスの森においては、今後の有効活用に向けてドローンによる測量を行い、林齢及び樹種を調査した。 |

前年評価：－　本年評価：A

# 目標２ 安心とやすらぎがあるまち

A…１００%／B…７５%／C…５０%／D…２５%／E…０%（未着手）

| ① 野焼きの苦情対応回数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 10 | 事業を継続 | 回/年 | | |
| 【内容】 住環 | 野焼きによる煙害等の苦情に対し、現地確認や指導を適切に行う。 | | | － | B |
| 【実績】 住環 | 令和8年2月末時点での野焼きの報告件数は13件である。野焼きの都度、注意・消火の指導を実施している。また、現地での指導の際は今年度より新たに必要になった消防署への届出についても併せて指導している。農業等に伴ってやむを得ないケースもあることから、今後も適切に指導を続けていく。 | | | | |

| ② 東海自然歩道の整備 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 36 | 事業を継続 | 回/年 | | |
| 【内容】 まち | 東海自然歩道の安全性を確保するため、適切な維持管理を実施する。 | | | － | A |
| 農林 | 東海自然歩道の安全性を確保するため、隣接地の危険木除去等の整備を実施する。 | | | | |
| 【実績】 まち | 月2回（年間24回）の定期巡回点検を継続的に実施し、ルート全域における路面の損壊、倒木、案内標識の汚損等の早期発見に努めた。把握した不具合箇所については、即座に応急処置または補修計画への反映を行い、年間を通じて利用者が安心して通行できる歩行環境を維持した。 | | | | |
| 農林 | 月2回（年間24回）の山林管理員などによるパトロールを行い、隣接地の危険木除去等の整備を実施 | | | | |

| ③ 環境の保全と創造に関する協定締結事業所の活動周知 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 6 | 事業を継続 | 回/年 | | |
| 【内容】 企環 | 協定締結事業所の環境保全活動を広報等で紹介し、町内の環境意識の醸成を図る。 | | | － | A |
| 【実績】 企環 | 広報誌「ほっとみたけ」にて、協定締結事業所が取組む環境保全活動を各月で紹介した。 | | | | |

## 目標２ 安心とやすらぎがあるまち

| ④ 町内河川の水質の維持 | | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 基準値以内 | 基準値以内 | － | | |
| 【内容】 住環 | 生活環境の安全を確保するため、町環境汚染総合調査（町内の河川水質汚濁、河川農薬、土壌汚染など）による環境の監視・測定を実施する。 | | | | － | B |
| 【実績】 住環 | 年間を通して河川水質調査、河川農薬調査など可児川本流及び支流で定期的に調査・監視を実施している。一部河川の支流で環境基準を超える数値が確認されたが、汚染物質の流入など外的要因によるものではなく、生息する生物由来のものである。その他の数値は、全て基準値以内である。 | | | | | |

# 目標３ 資源が循環するまち

Ａ…１００％／Ｂ…７５％／Ｃ…５０％／Ｄ…２５％／Ｅ…０％（未着手）

| ① 生ごみ等堆肥化処理基等の購入補助基数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 27 | 40 | 基/年 | | |
| 【内容】 住環 | 家庭での生ごみ減量化を促進するため、堆肥化処理器等の導入を支援・推進する。 | | | － | B |
| 【実績】 住環 | 令和6年度の購入補助基数は20件であったが、令和7年度は2月末現在で35件となっており、ほぼ倍増している。目標値の40件にはまだ届いていないが、今後も補助制度の広報を続けていく予定である。 | | | | |

| ② プラスチック製容器包装回収量 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 79 | 80 | t/年 | | |
| 【内容】 住環 | プラスチック製容器包装の回収量を拡大することで、廃棄物総量の削減を推進する。 | | | － | A |
| 【実績】 住環 | 令和6年度の回収量は79ｔであり、今年度は1月末現在で67ｔである。年間の予想回収量は81tとなり、目標を達成する見込みである。なお、来年度より製品プラスチックの回収を開始する予定であることから、プラスチック類の回収量は今後更に増加する見込みである。 | | | | |

# 目標４　地球環境にやさしいまち

Ａ…１００％／Ｂ…７５％／Ｃ…５０％／Ｄ…２５％／Ｅ…０％（未着手）

| ① 町内LED防犯灯の増加数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | － | 80 | 基/年 | － | C |
| 【内容】　総防 | 補助制度の活用を通じて、町内の防犯灯のLED化を推進します。 | | | | |
| 【実績】　総防 | 令和8年3月1日現在の設置基数は49基。引き続き自治会長会での説明など制度周知に努め、目標達成に近づくよう推進していく。 | | | | |

| ② 公共施設のＬＥＤ照明導入率 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | － | 100 | % | － | C |
| 【内容】　総管 | 公共施設における照明のLED化を計画的に進め、省エネルギー化及び脱炭素化を推進する。 | | | | |
| 【実績】　総管 | LED化が必要な施設47施設のうち、23施設についてはLED化に向けたリース契約を締結し、順次工事を行うため令和8年度中にLED化が完了する。残り24施設については、工事又は修繕によるLED化を進める対応に決定したため、今後順次対応を行う。 | | | | |

| ③ 太陽光発電設備導入可能調査の結果に基づく公共施設への設置率 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | － | 50 | % | － | D |
| 【内容】　企環 | 公共施設への太陽光発電設備設置可能調査を実施し、導入可能施設に設置を行う。 | | | | |
| 【実績】　企環 | 現在、町内公共施設62施設中９施設に太陽光発電設備を設置している。<br>今後は、軽量、曲面に設置可能なペロブスカイト太陽電池等を含めて設置検討を行う。 | | | | |

# 目標４ 地球環境にやさしいまち

| ④ 太陽光発電設備の導入量 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 18,529 | 31,500 | kW | | |
| 【内容】 企環 | 補助制度の活用や情報提供を通じて、町内への太陽光発電設備の導入を推進します。 | | | － | C |
| 【実績】 企環 | 現在の太陽光発電設備の導入量は19,716kWである。<br>太陽光発電の設置を推進するのため、補助金制度や共同購入事業について、回覧板やホームページ等を通じて周知を図った。<br>また、4/7に東邦ガス株式会社と「カーボンニュートラルの実現に向けた取組みに関する連携協定」を締結した。家庭用太陽光発電システムによって削減できたCO2排出量のJ-クレジット化や環境教育において連携・協力を進めており、環境フェアにもご参加いただいた。 | | | | |

| ⑤ 公共施設のZEB化率 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | － | ZEB Ready | 新築建築物の平均 | | |
| 【内容】 企環 | 公共施設の新築等に合わせ、ZEB化を段階的に推進する。 | | | － | D |
| 【実績】 企環 | 新庁舎建設について、要求水準書にて「ZEB Ready相当の性能とすること」と明記している。 | | | | |

| ⑥ 公共施設の再エネ電力の調達率 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | － | 60 | % | | |
| 【内容】 総管 | 公共施設の電力を実質再エネ100%のメニューで調達し、行政運営に伴う温室効果ガス排出量の削減を図る。 | | | － | A |
| 【実績】 総管 | 再エネ比率100%とするRE100を条件とした入札により、調達電力の入札を行ったことにより、全公共施設において調達電力は再エネ比率100%となった。 | | | | |

## 目標４　地球環境にやさしいまち

| ⑦ 公用車への次世代自動車導入率（代替え可能な電動車がない場合等を除く） | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 27 | 100 | % | | |
| 【内容】　総管 | 災害時の非常用電源としても活用可能な電気自動車等を中心に、公用車の次世代化を推進する。 | | | － | D |
| 【実績】　総管 | 公用車として次世代自動車（15台／56台）を導入している（導入率26.7%）。今後、公用車（軽自動車）を新規又は買い替えする際には電気自動車とし、軽自動車以外の場合は原則HV又はPHVの導入を検討する。 | | | | |

| ⑧ EV車用充電器の設置数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 5 | か所 | | |
| 【内容】　企環 | 電気自動車（EV）の普及促進を図るため、公共施設等への充電器の設置箇所を順次拡大する。 | | | － | D |
| 【実績】　企環 | R7年度に御嵩駅前駐車場の急速充電器を更新した。今後は国の補助金を活用し、設置箇所の拡大に向けて検討する。 | | | | |

| ⑨ カーシェアリング台数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 0 | 1 | 台 | | |
| 【内容】　総管 | 町が所有する次世代自動車を町民等に貸出を行うカーシェアリングシステムを導入することで、次世代自動車の普及促進及び自家用車から排出される$CO_2$削減促進を図る。 | | | － | D |
| 【実績】　総管 | カーシェアリングの導入に向けて、公用車の保険見直しを検討した結果、想定以上に保険料額が増額することから令和7年度は見送った。今後は、個人での保険加入者に向けたカーシェアリング含めて、手法を検討した後、導入を進めたい。 | | | | |

| ⑩ ノーマイカーデー運動賛同事業者数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 22 | 26 | 団体 | | |
| 【内容】　企企 | 各事業所における「ノーマイカーデー」の実施を促し、自家用車から公共交通・自転車・徒歩への転換を図ることで、通勤に伴う環境負荷の低減を推進する。 | | | － | C |
| 【実績】　企企 | ノーマイカーデー協賛企業について、学校や工業団地にも呼び掛けたが新規登録には至らなかった。なお、御嵩町役場職員のノーマイカー実績（4～9月）は前年度同時期比で約3.4倍となっており、この取組実績を地域内の各自事業所へ波及できるように努めていく。 | | | | |

## 目標４　地球環境にやさしいまち

| ⑪ 名鉄広見線利用者数 | | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 770,545 | 900,000 | 人/年 | | |
| 【内容】　企企 | 名鉄広見線の維持・活性化に向け、地域住民や町内企業と連携したモビリティ・マネジメントを展開する。公共交通の積極的な利用を働きかけ、環境負荷の低減と持続可能な地域交通の実現を同時に推進する。 | | | | － | B |
| 【実績】　企企 | 名鉄広見線の維持・活性化に向け、名鉄広見線活性化協議会では毎年活性化事業を行い、積極的な電車利用を呼び掛けた。R7年度は682,853人(4～1月計)の利用があり、年間推計すると約87.3%（785,778人）の目標達成率を見込む。 | | | | | |

| ⑫ コミュニティバス利用者数 | | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 23,048 | 23,500 | 人/年 | | |
| 【内容】　企企 | コミュニティバスの利便性向上を図るため、鉄道等との乗継円滑化やデジタル技術を活用した予約・運行システムの構築を推進する。あわせて利用体験機会の創出により、新規利用者の獲得と公共交通の利用定着を図る。 | | | | － | A |
| 【実績】　企企 | R7年度のふれあいバス利用者は13,694人(4～1月計)、ふれあい予約バスは、5,910人(4～1月計)となり、年間推計すると約99.7%（23,436人）の目標達成率を見込む。新たな取組みとして、7月より免許証自主返納者にコミュニティバスの回数券4,000円プレゼントを実施し、1月時点で14名の交付を行った。また、昨年同様に衆議院議員選挙の期日前期間(8日間)の無料乗車を実施した。利用機会の創出に効果が認められた。 | | | | | |

| ⑬ レンタサイクル拠点の利用者数 | | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 145 | 200 | 人/年 | | |
| 【内容】　まち | 民間事業者との連携により、観光客をターゲットとした戦略的なPR活動を展開するとともに、利用ニーズを分析し、最適な場所へのレンタサイクル拠点の増設を推進する。 | | | | － | C |
| 【実績】　まち | 八百津町と連携し作成したサイクリングマップ「みたやおマップ」などを物産イベントや観光イベント時に配布しPRを実施するなどし、2月末時点で102人の利用があった。2月には企業版ふるさと納税による電動自転車の寄附受納があり、今後この自転車をレンタサイクルにも活用して行く予定である。 | | | | | |

# 目標５ 環境について考え行動するまち

Ａ…１００％／Ｂ…７５％／Ｃ…５０％／Ｄ…２５％／Ｅ…０％（未着手）

| ① 小中学校主催の環境教育対象者数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 129 | 145 | 人/年 | － | A |

| | | |
|---|---|---|
| 【内容】 | 農林<br>学教<br>企環 | 環境教育を充実させ、受講対象者数のさらなる拡大を図る。 |
| 【実績】 | 農林 | 11/15に東邦ガスの森にて、東邦ガス(株)と共に町外の小学生を対象(50名)に間伐体験と色えんぴつ講座を実施し、関係人口の増加を図った。 |
| | 学教 | 令和7年度中にみたけの森で森林環境学習を行った。<br>御嵩小学校(89名)　上之郷小学校(56名) |
| | 企環 | 小中学校を対象とした環境学習として、環境マイスターや町職員を講師として派遣した。実施内容は、御嵩小学校4年生（70名）、共和中学校1年生（58名）への「カワゲラウォッチング」のほか、御嵩小学校3年生（84名）を対象とした「みたけの森における植物・野鳥観察会」、同4年生（70名）への「地球温暖化防止の取組」に関する講座である。 |

| ② 環境講座等の実施回数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 10 | 講座/年 | － | A |

| | | |
|---|---|---|
| 【内容】 | 住環<br>企環 | 参加者のニーズに合わせた環境講座等を実施し、より多くの町民が環境について学ぶ機会を創出する。 |
| 【実績】 | 住環 | 6/1にダンボールコンポスト・グリーンカーテン講習会を開催した（38名）。 |
| | 企環 | 植物・野鳥観察会のほか、スツール・箱いす・お盆づくりなど、合計12講座実施した（140名）。 |

## 目標５ 環境について考え行動するまち

| ③ 林業体験の実施回数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 4 | 5 | 回/年 | | |
| 【内容】 農林 | みたけの森等のフィールドを活用し、間伐や植樹などの林業体験を積極的に開催し、森林保全への参画意識を高める。 | | | － | C |
| 【実績】 農林 | 5/9(株)十六フィナンシャルグループ(160名)、10/25アサヒビール(株)(30名)、11/15東邦ガス(株)(50名)3企業と共に実施。 | | | | |

| ④ 木育サポーター数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | － | 5 | 名 | | |
| 【内容】 企環 | 町民が環境教育の担い手として活躍できる「木育サポーター」の養成を行い、学校や地域における木工体験・森林学習の支援ネットワークを強化する。 | | | － | D |
| 【実績】 企環 | 本町の「豊かな山林資源」を次世代へ引き継ぐための独自の木育モデルである「みたけ木育アプローチ」に基づき、各環境講座を実施している。<br>現在は、一人でも多くの町民の皆様に木育への興味を持っていただく「裾野を広げる段階」であり、将来的には、次なるステップとして、自らが環境教育活動を支えたいと願う方々が「みたけ木育サポーター」となっていただくことで、「みたけ木育アプローチ」のサイクルが循環していくような息の長い仕組みづくりを推進していく。 | | | | |

| ⑤ 環境啓発イベントの開催数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 1 | 回/年 | | |
| 【内容】 企環 | 住民・団体・行政が連携した環境イベントを継続的に実施することで、環境問題への関心を高め、具体的な実践行動へと繋げる機会を創出する。☒ | | | － | A |
| 【実績】 企環 | 8/31の「サステナブルクッキング」では、御嵩町生活学校の協力により、家庭の生ごみから作った肥料で育てたゴーヤを、東邦ガスの環境に優しい「e-メタン」で調理する体験イベントを実施し、カーボンニュートラルに関する普及啓発を行った。<br>2/22の「環境フェア」では、小・中・高校や企業、各種団体など合計38団体が体験・展示を行い、複数のブースにおいて湿地や希少野生生物の保護に関する啓発活動を展開した。<br>企画課のブースでは「こども未来の環境作品展」の展示に加え、7/10から開始した「メルカリShops」に出品中の商品を会場内に実物展示した。当日はその場で2品の売上があり、累計では出品した8品のうち3品の成約に至った。 | | | | |

## 目標５ 環境について考え行動するまち

| ⑥ 町内事業所の環境関連イベントへの参画事業所数 | 現況値（計画策定時） | 目標値 | 単位 | 前年評価 | 本年評価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 3 | 回/年 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 【内容】 企環 | 町内事業所の優れた環境技術や取り組み等を広く紹介するため、環境フェアへの出展勧奨を行い、参画事業所の増加を目指す。 | － | B |
| 【実績】 企環 | 環境フェアについて、町内の参画事業所は４社（東海化成工業、あゆみ館、パティスリーランド、みたけさいとう商店）であった。<br>来年度は、「御嵩町環境の保全と創造に関する協定締結団体」を中心に環境について積極的に取組んでいる事業所に直接お声がけをしていく。 | | |